

H29,10,1 日本語教育大会大阪大会 第2分科会

子どもに日本語を教える人の 専門性について考えよう



社会福祉法人せんねん村 多文化ルームKIBOU

多文化事業コーディネータ

川上貴美恵

ブログ <http://roomdekibou.wixsite.com/blog>

子どもに日本語をおしえるって・・・ 以前は、こんなイメージ・・・

- ★ひらがな、カタカナをおぼえたら大丈夫そう
- ★日本人の友だちができたなら日本語おぼえそう
- ★学校の宿題をてつだってあげれば、勉強ができるようになりそう
- ★大人の学習者より教えるのは簡単そう。

では、実際 どんな子どもが来てるの？

- ★親に連れられ渡日、あるいは...
- ★子どもによっては、母国で...
- ★一人で過ごす時間が多い
- ★あたらしい家族との同居
- ★早く働きたい = 家計の担い
- ★外国にルーツのある子どもが成

想像とちがう！
なにをどうしたら
いい？

⇒ **年齢、目的別にクラスを設置**

多文化ルームKIBOU

西尾市委託事業（外国にルーツを持つ子どもに対する就学支援事業）内で設置した教室

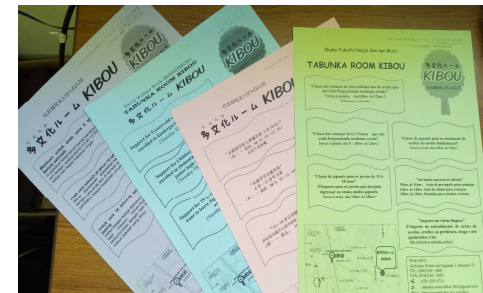
不就学、不就園状態にある子どもに対して、就学・登校・日本語学習支援をすることを目的

【実施クラス】

- 不就学クラス
- 不就園5歳クラス
- 小中学生日本語クラス
- 過年齢(15-18歳)クラス
- 土曜日の特別活動
中国語、ポルトガル語

【その他】

- 多言語サポート
- 行事、イベント



火曜～木曜 10:00～12:00

不就園5歳クラス

大目標：就園・就学

子どもの様子：運動不足、食の好み・遊び方のちがい
就学のための生活経験少ない

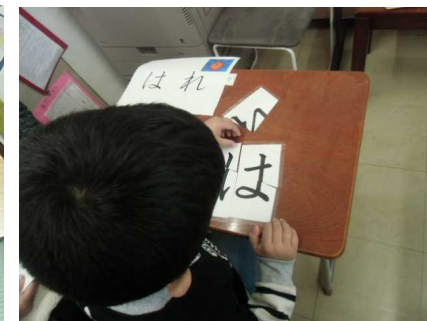
指導内容：あいさつ、自由遊び

絵本読み聞かせ、工作、文字指導

おやつ、ルールのある遊び

さんぽ・運動、衛生面、

保護者へ就学の意識づけ



火曜～木曜 9:30～12:00

不就学 (6～15歳) クラス

大目標：就学

子どもの様子：生活リズムの崩れ、運動不足、偏食、
生育環境によっては生活経験少ない、就学に消極的

指導内容：あいさつ、自己紹介、教室用語、文字指導
算数・数学の基本的な語彙
地図を使って散歩・かるい運動
工作、調理実習、学校見学、家庭訪問



火曜～金曜 13:00～15:00

過年齢(15～18歳)クラス

大目標：進学、進級

子どもの様子：

お金を稼ぐ経験をする、目標を見失いがち
生活にメリハリがない

指導内容：生活の日本語全般

受験のための日本語(面接、作文)

祭りなど行事参加

高校見学



火曜～金曜 16:00～19:00

小・中学生 夕方クラス



大目標：クラスの一斉授業を理解できるようになる

子どもの様子：日常会話はおおよそ流暢
身近なロールモデル少ない
成功体験少⇒自信がない



指導内容：小学生⇒読書の木（短いまとまりのある文章読解、
作文、発表）

中学生⇒教科につながる日本語、教科学習支援
受験学習支援



KIBOUスタッフ

- ◎責任者/不就学クラス主担当 1名
- ◎不就園クラス主担当/ポルトガル語通訳 1名
- ◎過年齢クラス主担当 1名
- ◎不就学・過年齢クラス副担当/中国語通訳 1名
- ◎小中学生日本語クラス主担当 1名
- ◎インドネシア語通訳/活動補助 1名
- ◎フィリピン語通訳/活動補助 1名
- ◎小中学生日本語クラス補助 1名
- ◎事務/活動補助 1名 その他、ボランティアなど10名程度



KIBOUスタッフ(日本語指導員)は、 こんな経験や資格をもっている人たち

教員経験者(幼、小、中)、語学相談員経験者

一般企業で日本語教育の経験あり

外国出身、海外留学、JICAボランティア経験者



日本語教師養成講座420時間修了

日本語教育能力検定試験合格

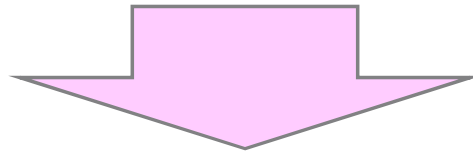
他ボランティア教室での経験

大学で日本語教育コース専攻(在学中)

経験や資格が大切だと思う理由

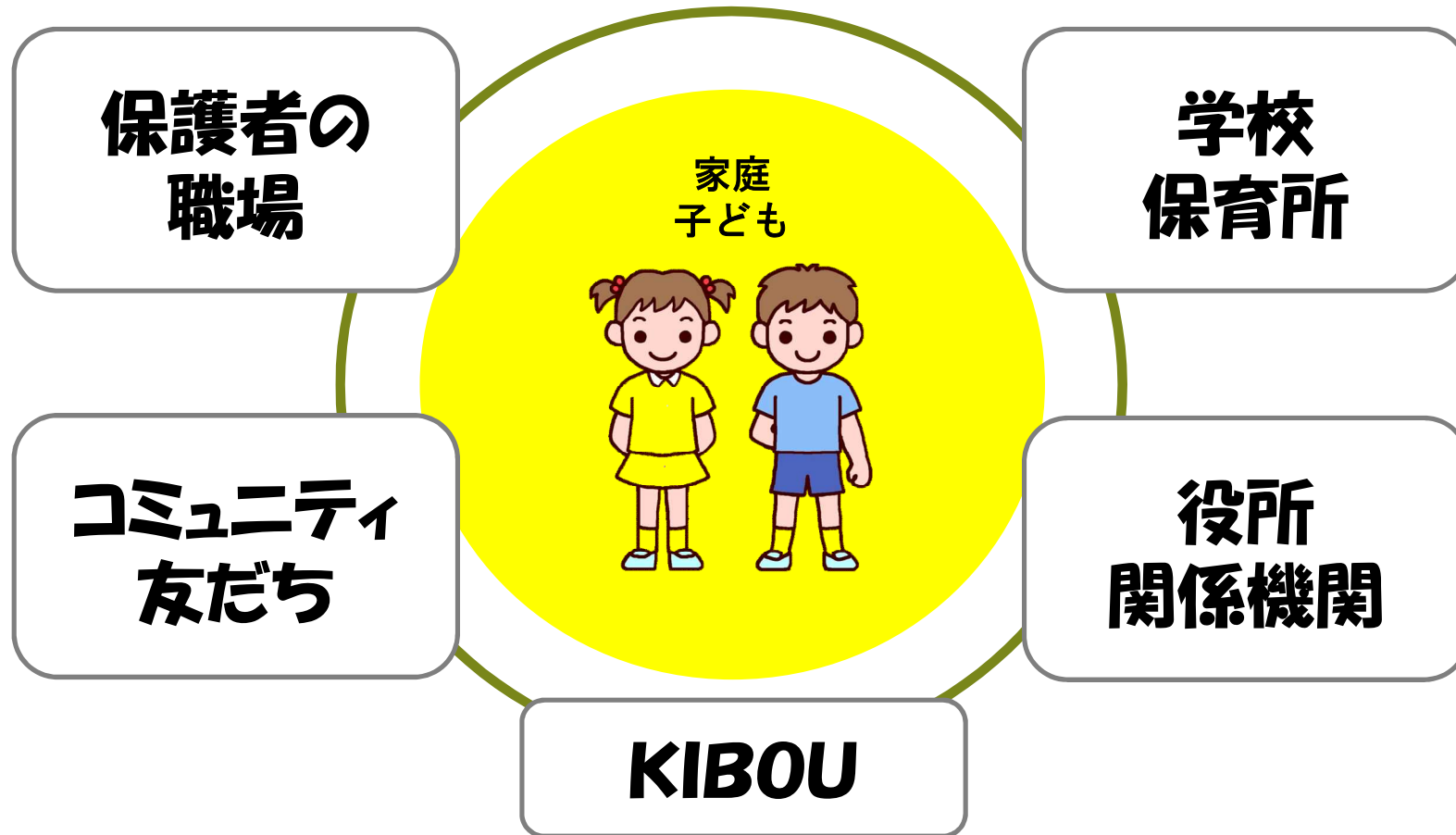
採用のさい、資格を問うことはない

しかし、ある領域での一定の知識や技術を身につけているということがわかる



子どもを多角的にとらえる視点を持つことができる
他部署、機関との情報交換がスムーズ
スタッフ間の有意義な話しあいができる

子どもを支える環境としてのKIBOU



日本語指導以外で求められること

コーディネートする人

日程、行事、
他機関との関わり



スタッフ

データ、記録
整理、まとめ

KIBOU

専門性の発見
気づき

機関

会議
研

**これからも多様化、多文化化していくであろう
この社会で、私たちの活動は
ますます必要とされます。**



**現場にいる私たちが研鑽を積み
専門性に気づいていくことが
日本語教室の地位向上につながると信じています！**